

平成 27 年度 第 1 回  
中野市総合教育会議 会議録

中野市・中野市教育委員会

○ 開催日時 平成 27 年 7 月 9 日 (木) 午後 3 時～午後 3 時 57 分

○ 開催場所 市役所 31 号会議室

○ 議事日程

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 総合教育会議の運営について

(2) 中野市教育大綱の策定について

(3) 懇談

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について

(4) その他

4 閉会

○ 出席者

1 構成員

市長 池田 茂

教育委員長 長島 克己

教育委員長職務代理者 青木 幸子

教育委員 岡村 博子

教育長 小嶋 隆徳

2 意見聴取者及び説明者

副市長 横田 清一

教育次長 石川 保文

学校教育課長 宮澤 利彦

学校教育課長補佐 小林 由美

## 《開会》

(石川教育次長)

定刻となりましたので、ただ今から、第1回中野市総合教育会議を開会いたします。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます、教育次長の石川です。よろしくお願いたします。なお、本日の会議は公開でございますので、ご承知おきのほどお願いたします。

はじめに、会議を主宰します池田市長からあいさつ申し上げます。

## 《市長あいさつ》

(池田市長)

会議の開催にあたり、一言、あいさつさせていただきます。

本日は、4月1日に施行されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に基づき、中野市総合教育会議を開催したところ、教育委員長並びに委員の皆様には、お忙しい中出席いただき、厚く御礼申し上げます。

また、日頃から中野市の教育行政の推進に対し、多大なるご尽力をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

中野市では、これまでも、市長と教育委員会との懇談会を定期的を開催し、その時々々の教育課題につきまして意見交換をしております、教育委員会とはとても良好な関係が築かれていると思っております。

今年度から発足しましたこの総合教育会議によりまして、これまで以上に連携を強固なものとし、充実させ、教育に係る様々な課題について論議し、中野市の未来ある子どもたちのために、最善の方策を一緒に考えていきたいと思っております。

教育は国家百年の計といいますが、これから遠い未来、教育の問題は常に行政の課題でもあり、地域での課題にもなってきます。未来を支える子どもたちの教育について、皆さんと一緒に考えて行きたいと思っております。

今現在、学校の統合という課題が目の前に迫っておりますが、この課題も含めまして、是非とも活発な意見をお願いしたいと思います。

本日はよろしくお願いたします。

(石川教育次長)

ありがとうございました。

続きまして、長島教育委員長からごあいさつをお願いいたします。

## 《教育委員長あいさつ》

(長島教育委員長)

第1回中野市総合教育会議の開催にあたりまして、教育委員会を代表しまして一言あいさつを申し上げます。

日頃から、市長さんをはじめ市の関係者の皆様には、中野市の教育行政発展のため、

多大なるご支援ご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

先ほど市長さんからもお話がありましたが、これまでも開催している教育委員会と市長さんとの懇談会により、お互いが信頼できる関係になっていると自負しております。今年度から開催される総合教育会議によって、さらに信頼が深まり、市と教育委員会が一緒になることで、様々な課題もクリアできるのではないかと考えております。

私達教育委員は、これからも中野市の子どもたちが健やかに成長できるよう、さらに力を尽くしていきたいと思っておりますので、市長さんにおかれましては、今後とも格別なご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、有意義な意見交換ができればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(石川教育次長)

ありがとうございました。

本日は出席構成員ということで市長他教育委員の皆さん、あと副市長及び事務局の関係する職員が出席させていただいております。

なお、市川教育委員におかれましては、本日所用にて欠席となっておりますので、ご了承願います。それでは議事に入ります。議事の進行につきましては、池田市長にお願いいたします。

(池田市長)

それでは議事の進行を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

## 《議題1 総合教育会議の運営について》

(池田市長)

まずはじめに、議題1 総合教育会議の運営についてを議題といたします。事務局より説明願います。

(宮澤学校教育課長)

学校教育課長の宮澤でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、総合教育会議の運営について、お手元の資料に沿って説明させていただきます。資料2ページをご覧くださいと思います。

1の総合教育会議につきましては、昨年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正を受けまして、全国の地方自治体が設置するもので、教育の中立性、独立性を確保しつつ、教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理の対応、首長と教育委員会との連携強化を図ることを目的に制度化されたものであります。

2の総合教育会議の進め方につきましては、(1)の構成員につきましては、法に基づき、市長と教育委員会としております。(2)の意見聴取者につきましては、必要に応じ関係

者や識者の出席を求める場合がございます。(3)の事務局につきましては、市長が設置招集する会議でありますので、市長部局の総務部政策情報課でございますが、事務の一部を補助執行する教育委員会事務局学校教育課関係職員が併任発令を受け事務を執行いたします。(4)の協議・調整事項につきましては、総合教育会議では、法の規定に基づきまして、教育大綱の策定の他教育の条件整備など重点的に講ずべき施策、児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置などについて協議調整をお願いしたいと考えております。(5)の会議の開催回数につきましては、年2回から3回程度を考えておりますが、その他緊急の場合や教育委員会から招集要請のあった場合は、必要に応じて開催したいと考えております。(6)の運営方法につきましては、この会議で定めることとなっておりますので、運営要領(案)につきましてご説明申し上げます。3ページをお願いいたします。第1条の趣旨につきましては、総合教育会議の運営に関し必要な事項は総合教育会議が定めることとなっていることから、運営要領を定めるものでございます。第2条では、会議の招集や開催の手続き等について定めたものでございます。第3条につきましては、会議において必要に応じて関係者若しくは学識経験を有する者から意見を聞くことができることから、その意見聴取者について市長が決定するとしたものであります。次に第4条でございますが、会議は原則として公開としておりますが、個別の事案において、個人情報保護する必要のある場合や公益を害する恐れのあると認められる場合は、当会議で非公開と決定した事案は公開しないことといたします。次に第5条でございますが、会議の傍聴の手続き、傍聴の制限について定めたものでございます。次に第6条では、会議録を作成し公表するものとしたしますが、第4条で説明しました非公開とした会議の会議録につきましては、公開しないことといたします。最後に第7条の事務局については、総務部政策情報課となります。以上中野市総合教育会議運営要領案について説明いたしました。

(池田市長)

ただ今、中野市総合教育会議の運営と要領について説明がありましたが、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(小嶋教育長)

この要領(案)で運営していただければと思います。

(長島委員長)

総合教育会議は教育制度について一緒に勉強できる有意義な会議であると思っています。これからもこの運営でやっていただけたらと思います。

(池田市長)

それでは、本件について原案どおり決定するというご異議ありませんでしょうか。

-異議なし-

(池田市長)

ありがとうございました。それでは、資料3ページの中野市総合教育会議運営要領の案を消していただき、本日平成27年7月9日から施行するものいたします。

今後この要領に基づきまして行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 《議題2 中野市教育大綱について》

(池田市長)

続きまして、議題2 中野市教育大綱の策定についてを議題といたします。事務局より説明願います。

(小林学校教育課長補佐)

学校教育課長補佐の小林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、中野市教育大綱の策定について説明させていただきます。資料4ページをお願いいたします。

大綱の策定につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3で新たに規定されたもので、地方公共団体の長が教育行政の根本となるものを定めなければならないという義務付けされたものであります。また、この大綱は市長と教育委員会が総合教育会議で十分協議調整をし、お互い合意した教育行政の目標を記載するということになっておりますことから、今回の議題となっております。この教育大綱の定義につきましては、昨年文部科学省から通知が示されておまして、「大綱は教育行政に関する総合的な施策目標及び根本となる方針を定めるもので、詳細な施策について求めるものではない」、また「地域の実情にあったものを策定してよい」とされておりますので、それに沿った大綱の策定を進めたいと考えております。

それでは、具体的にどのように大綱を策定していくのかということでございますが、4ページの4に記載してありますとおり、文部科学省の通知では、総合計画など別の計画があつて、そこに教育の目標や方針が含まれていて、総合教育会議で認められればその計画を大綱に代えることができるとされております。

折しも今年度、中野市では第2次中野市総合計画を策定する年でありまして、この総合計画に盛り込まれる教育大綱にあてはまる部分の施策を総合教育会議の中で確認し、最終的には中野市第2次総合計画を中野市教育大綱に代えるという案を進めて参りたいと考えておりますので、ご協議のほどよろしくお願いいたします。

(池田市長)

ただ今事務局から中野市教育大綱について説明がありましたが、ご質問ご意見ありますでしょうか。

(小嶋教育長)

今説明にもありましたが、中野市の総合計画は新年度に向けて現在見直しております。今まであった総合計画にも、内容的には学校教育、生涯学習、社会教育両面に渡って非常に大事な骨子をうたっているということで、今後この中野市の総合計画を基本に据えて協議をしていったらいいと思います。事務局案に対し賛成ということでお願いいたします。

(池田市長)

他に意見がなければ、事務局の説明どおり中野市総合計画を中野市教育大綱に代えていくということによろしいでしょうか。

-異議なし-

(池田市長)

ありがとうございます。それでは事務局は今後速やかに教育大綱の策定作業を進めてください。

### 《議題3 懇談 中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について》

(池田市長)

それではここからは懇談としたいと思います。テーマは「中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）」についてといたします。最初に事務局から趣旨について説明し、その後基本方針（案）の要点についてを教育長から説明願います。

(石川教育次長)

それでは私の方からこのテーマの趣旨について、簡単に説明させていただきます。

中野市教育委員会では、少子化の進展によりまして将来的な児童生徒数の減少に対応し、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備と教育の質の一層の充実を確保するために、中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会を設け、そこからの答申を尊重して、中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）を策定したところであります。これから地域の皆様にご理解いただくよう説明会に入っていくわけですが、その前にこの総合教育会議で議していただくことが重要であると考えまして、このテーマといたしました。よろしく願いいたします。

(小嶋教育長)

すでに基本方針（案）は公表となっておりますので、私の方から概略をかいつまんで説明させていただきます。

昨年9月に答申をいただいたが、その中で教育環境整備の基本条件ということで、7つの観点で望ましい学校の姿を提案していただきました。教育委員会の中では、集団で学び合える教育環境の実現、地域に根差した魅力ある教育の推進という2点を根底に据えて議論してまいりました。基本方針（案）の策定にあたっては、答申を大事に受け止めて、又今までの経過も大事に踏まえて審議を重ねてまいりました。教育次

長からも話がありましたが、これから地域に出向いて説明会を開催していくわけですが、保護者や地域住民の十分な理解をいただきながら、円滑に推進していきたいと考えております。

それでは、基本方針（案）についてでございますが、まず中野市における小中学校の適正規模の基準ですが、小学校は1学年2学級以上、中学校は1学年3学級以上とするというように基本方針（案）の中で基準を設けました。統合してもこの基準にびったり合致しない場合もでてくるわけですが、児童生徒のことを考えた時に、集団で学び合えることが大切であるということから、たとえ統合して1学級になってしまった場合でも、1クラスの人数が多いことで集団で学び合えるということ、学習方法の工夫をすれば効果があがるということの結論に達しました。

次に適正規模適正配置の推進の方策については、通学区の見直し、学校の統合、学校選択制という手法がありますが、学校の統合ということで進めてまいりました。

今後の具体的な取り込みといたしまして、まず中学校については、答申では中学校の数を削減することを提言されていますが、4中学校はそのままの体制で存続いたします。

高社中学校区の長丘、平岡、科野、倭小学校については、児童数の減少がもっとも顕著な地区であります。4小学校を統合して位置は平岡小学校といたします。小中連携も大事にしながら、校舎分離型の小中一貫校を推進してまいります。

豊田中学校区の豊井、永田小学校の2小学校については統合し、位置は豊田中学校といたします。校舎一体型の小中一貫校を推進してまいります。

南宮中学校区の中野、日野、延徳小学校については、中野小学校は現状のまま存続いたします。昔と違って現在は超大規模校ではなくなってきております。日野、延徳小学校の2小学校は統合し、位置は延徳小学校といたします。

最後に、中野平中学校区の平野、高丘小学校の2小学校については、統合とうたっておりますが、2つの学校とも敷地面積、校舎のキャパが狭く、今後どうするかを検討してまいります。

スケジュールについては、これから地区の説明会で皆さんの意見を伺い、関係機関にお諮りして決めていきたいと思っております。緊急性、必要性の高いところから順次すすめていきたいと考えております。説明は以上であります

(池田市長)

それではみなさんの忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

(青木教育委員長職務代理)

子どもたちが減少しているという状況の中で、前々からこれでいいのかと考えてきたように思います。1学級1桁の人数という学級もたくさんありますが、この1桁というのは、学習環境としていいのだろうかと考えた時、私も教員をしていた経験もありますが、やはり子どもたちは学習する中で、様々な意見をだし、その中でいろいろ

な考えを膨らませていく、深めていく、広めていくそんな姿もありました。そのような意味でもやはりたくさんの方と出会い、話し合い、切磋琢磨しあうことが大事なことではないかと思えます。

(岡村教育委員)

地域の中でもいろいろな意見が耳に入ってきます。小さければ小さいなりに、大きければ大きいなりに意見があります。小さければ先生が目が届くとか、少人数の中でやってきた子が大人数の中に入ってやっていけるのだろうか心配しているお母さんの意見もあります。そのような意見も聞きながら決めていかないといけないと思えます。

(長島教育委員長)

昨年9月に適正規模等審議会から答申をいただいたわけですが、審議会委員の皆さんは、2年間という長い歳月をかけて膨大なPTAや保育園、幼稚園等の保護者からアンケートをとってまとめたり、他にもいろいろな検証を行って答申をまとめあげました。この答申を十分尊重しながら教育委員会でも十分協議し、今回の基本方針(案)をお出ししたわけですが、若干学級数が答申には届かないところもありますが、先ほど教育長からも説明がありましたが、1クラスの人数が増えることで、集団で学び合えることではないかということになりました。

この基本方針(案)が出されてから、私の知り合いからもいろいろな意見を聞いています。これから地域の説明会に入っていくわけですが、反対・賛成と両方の意見が出てくると思いますが、皆さんにわかっていただけるよう説明していきたいと思っています。

(横田副市長)

私も2年間教育の仕事をさせていただきましたが、その中で感じてきたことは、やはり小人数の中で学びなり遊びなりしてきた子どもたちが、大人数の所に入って自分の意見が言えるのだろうかということでございます。例えば5人の学級だと自分の意見の他に4つの意見しかないわけですが、同じ意見がありますとそれよりも減ってしまいますので、そうなりますと学習をしていく上で不都合が生じるのかなと考えておりました。今回まとめていただいた基本方針(案)は、適切ではないかと感じております。

(池田市長)

2年間審議会の中で審議し、答申が出てきて今回の基本方針(案)がまとまったわけですが、その過程の中で相当の激論があったであろうとお察しいたします。教育長からも説明があったとおり、軸となるものは集団の中で生きる力をつける、地域に根差した教育という視点からみると、最善の方策ではなかろうかと思えます。当然のこ

とながら、学校の存在は地域の皆さんにとっては重要なものであり、強い思いをお持ちの方もたくさんいらっしゃいます。賛成反対の意見があろうかと思いますが、ここはひとつの案であり、それも相当練られた案であると私は受け止めております。これから地区説明会が開かれるということですが、地域の力があってこそその学校でもあり、まずは皆さんにご理解いただくことが大切であろうかと思えます。人口の減少による教育の問題はとても難しい問題ではありますが、軸足は子どもたち自身の教育、子どもたちの成長という視点に立って考えていくのが重要であります。そんな思いからより良いスムーズな形で統合ができればと思っています。

(小嶋教育長)

小学校で運動会が毎年行われていますが、地域の方もとても楽しみにしています。私達教育委員も手分けして運動会を見にいかせてもらっておりますが、大きい学校はマ스ゲーム的なものもありまして、見に行かれた方は、よかった、涙が出たというような感想をお持ちでした。かたや、小さい学校の運動会を見ますと、かけっこから係の準備やら仕事で休む暇もないくらいに動いていて、大変だなーと思いました。小学校の時は集団で運動をしたり、かけっこをしたりということも大事なことかと思えます。とりわけ、小規模校になると、地域のみなさんが一緒になって準備したり参加したりしてしまっていて、子どもの数より大人の数の方が多いといった昔と少し違った光景もあります。

(池田市長)

人数が少ないからということではなく、子どもたちが社会の中で人間関係をどう築き上げていくかということを考えると、学校社会の中で得るものはたくさんあるのではないかと思います。

(長島教育委員長)

教育委員で市内の全部の小中学校を訪問して、授業を見させてもらっています。私達の年代はクラスが大人数でしたので、クラスに7人～8人となるととても少ないような感じがします。それとクラスの編成も男の子1人で、女の子6人というように偏ってしまう場合があって、これも大変だなと思うことがあります。校長先生のお話をお聞きすると、小規模校の良さを引き出すよう、地域の方と連携をして一生懸命やっていることがとてもよくわかりますが、やはりこれでいいのかなと感じることがあります。大勢の意見を聞くことで学び合うということが大事だと思います。

(横田副市長)

中野市の人口が減少する中で、中野市はこれからどうするんだということですが、第2次総合計画、その他に今国が進めています地方創生ということで「まち・ひと・しごと」の戦略を早急に立てる努力をしております。中野市では、2010年から2040

年までに何もしなければ人口が 12,000 人減ってしまうと言われていますが、少しでもプラスになるように施策を立てて行く予定であります。

(小嶋教育長)

基本方針(案)を公表した後、私の方へもいろいろなご意見をいただいています。統合を進めてほしいといった意見もあれば、地域から学校がなくなれば地域が寂れてしまうとか寂しいという方もいらっしゃいます。そのような意見も十分理解できますが、教育の場がなくなれば地域が寂れていくのではなく、何か他のものがないから寂れていくという事もあるのではないかと思うことがあります。地域での説明会では、お互い感情的にならないで、冷静に考えていきたいと思っています。

(池田市長)

時間をかけて作りあげた基本方針(案)であります。地域の皆さんに丁寧に説明して、ご理解いただくことが大切であろうかと思えます。中野市の教育環境の整備は中野市の魅力にもなります。これからこの総合教育会議で皆さんと密にし、教育の根本となるものを議しながら、有意義なものとしていきたいと思えます。

(池田市長)

本日はありがとうございました。次回会議につきましては、状況をみながら開催していきたいと思えます。本日初めて総合教育会議を開催し、それぞれの皆さんから大変貴重なご意見をいただきました。これからも情報を共有して、一緒になって教育行政をすすめていきたいと思えます。本日懇談しました「小学校及び中学校適正規模等基本方針(案)」については、これから市民説明会に入るわけですが、様々なご意見があろうかと思えますが、その意見もお聞きいただきながら進めていってほしいと思えます。よろしく願います。

それでは、本日予定しました議事は全て終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。

## 〈閉会〉

(石川教育次長)

皆さま、お疲れ様でございました。本日の結果につきましては、後日議事録としてホームページにて公表してまいります。なお、今後の総合教育会議の開催につきましては、日程が決まりましたらご通知申し上げます。

以上をもちまして、第1回中野市総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。